

依頼書の記入法

①発行年月日、歯科医師名、歯科医院住所、患者氏名、撮影目的を記入して下さい

③撮影部位、撮影時のステントの有無、撮影枚数を記入して下さい

④計測希望がある場合は記入して下さい。印刷か、JPEG 時のみ使用します。3DX ソフト用データ・One Data Viewer Plus の場合ご自身のパソコンで測定できます

⑥撮影依頼時の注意事項をご記入下さい。特に3DX ソフト用をお持ちでない先生は、スライスの方向などをご指示下さい。

⑦下記の中から送付方法をお選び下さい。※3DX ソフト用をお持ちでない先生は One Data Viewer が便利です。

⑧送付媒体・送付方法を記入して下さい。データを CD・DVD にてお渡しします。患者さんに直接お渡しするか、指定住所まで郵送致します。
※宅急便は着払いとさせていただきます。

②撮影範囲を選択してください。

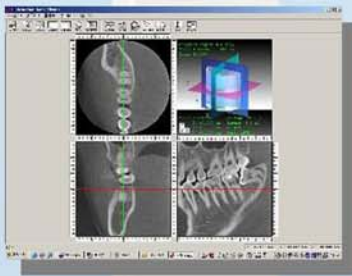
Φ40mm×H40mm
(片顎3から4歯分の大きさ)
歯内療法における診査、歯根骨折の診査、抜去予定歯の診査など。
※約 90%の症例はこの撮影領域で対応出来ます

Φ60mm×H60mm
(上下顎6から7歯分の大きさ)
広範囲のインプラント治療のための顎骨顔面部などの診査、歯周病の診査、矯正の歯軸の診査・診断など。

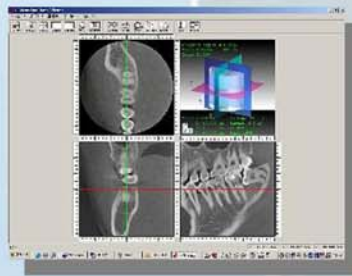
⑤スライス厚は One Data Viewer を希望の先生のみ記入して下さい。0.125mm は滑らかに細かく見られますが、データ量が大きくお使いのパソコンによっては、開くのに時間がかかります。歯内療法などには有効ですが、通常は 1.0mm で十分です。

3DX撮影依頼書

発行年月日	平成 2006年 10月 17日
撮影医師氏名	牧田 太郎
歯科医院名	牧田歯科クリニック
住所(送り先): 〒	564-8650 大阪府吹田市豊水町3-33-18
患者名	大(報)平 40年 2月 3日 フリガナ モリタ タロウ 森田 太郎 (男・女)
撮影範囲	40×40mm(3~4歯 片顎)
撮影部位	撮影部位を四角で囲ってください
必要部位	<input type="checkbox"/> 上顎前 <input type="checkbox"/> 前歯列在 <input type="checkbox"/> 前歯列在 <input type="checkbox"/> 前歯列 <input type="checkbox"/> 前歯列 <input type="checkbox"/> 下歯列 <input type="checkbox"/> オートガイ
ステント	有/無
計測希望	有/無
撮影枚数	計 1枚
スライス厚	1.0mm 0.5mm 0.125mm
撮影依頼時の注意事項	診断ステントのジグと下歯槽管が同時に写るようにスライス
送付形式	<input type="checkbox"/> 3DXソフト用 <input checked="" type="checkbox"/> One Data Viewer <input type="checkbox"/> JPEGファイル <input type="checkbox"/> 印刷 (等倍・拡大A4)
送付媒体	<input checked="" type="checkbox"/> DVD/CD-ROM <input type="checkbox"/> なし
送付方法	<input checked="" type="checkbox"/> 宅急便 <input type="checkbox"/> 患者さんに渡す <input type="checkbox"/> その他



① 3DX ソフト用
3DX 専用ソフトをお持ちの方に3DX ボリュームデータを記録媒体 (DVD,CD-ROM) にてお渡し致します。



②One Data Viewer
当院で最もふさわしいと判断したスライスを行い簡易ソフトを付けてお渡し致します。再スライスは出来ませんがお手持ちの PC で 3 次元診断が出来ます。



③JPEG ファイル
当院で最もふさわしいと判断したスライス画像 (水平断、横断、縦断) を JPEG データにして記録媒体 (DVD,CD-ROM) にてお渡し致します。



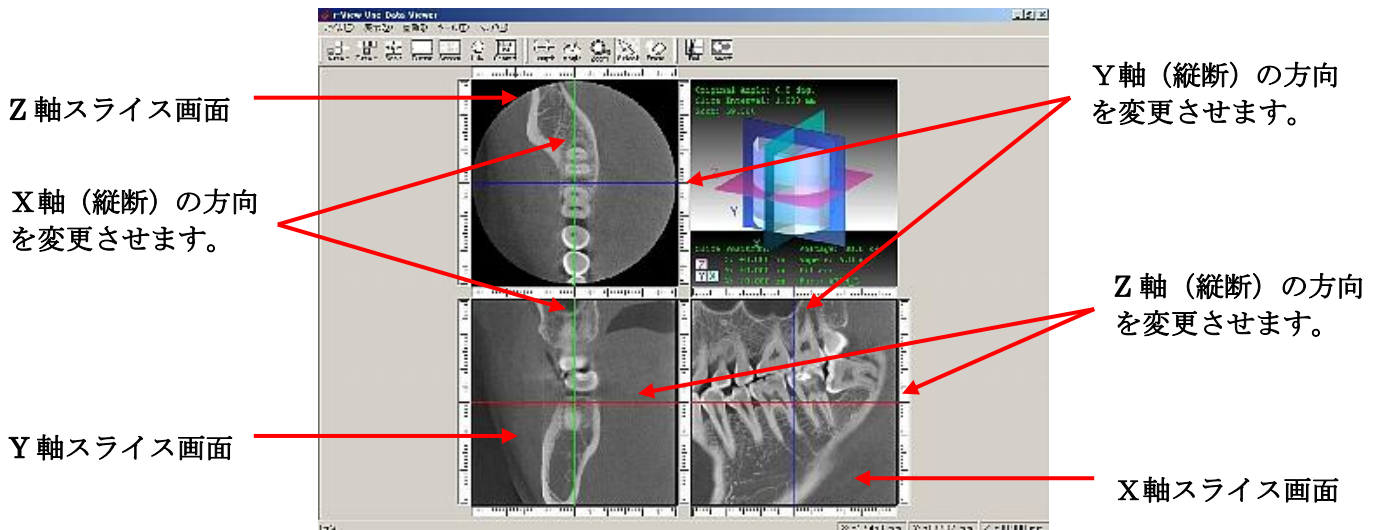
④印刷
当院で最もふさわしいと判断したスライス画像を一枚の紙に印刷してお渡し致します。

One Data Viewer データーが届いたら

ワンデータビューアープラス(Windows2000・XP 対応)により、i-VIEW ソフトがインストールされていない
 医院のパソコンでも3D画像を得ることが出来ます。

機能としては、3D画像(カーソルを動かすことでスライス診断画像を見ることが出来ます)、患者情報、
 距離計測、角度測定、ズーム、白黒反転、ブライトネス、コントラスト、ガンマ調整機能があります。

- 1) 患者さんの名前の付いたフォルダが記録媒体(DVD,CD-ROM)に焼き込まれています。
 このフォルダを PC の適当な場所にコピーしてください。
 ※この操作を行わなくても、記録媒体(DVD,CD-ROM)から直接起動出来ますが、時間がかかります。
- 2) コピーしたフォルダを開いてください。
- 3) ODViewer.exe を開いてください。



患者情報表示時、コメント入力出来るようになります。

患者情報を表示します。

角度や長さの計測表示を非表示にしたり、表示したりします。

カーソルを非表示にしたり、表示したりします。

1:1に拡大します。

X、Z軸の方向を変更させます。



画像の色が白黒反転します。。

イメージの調整ウィンドウを表示し、明るさ・コントラスト・ガンマ値を調整できます。

画面上に追加された測定データを消去することが出来ます

ツールメニューの機能をキャンセルします。

ズーム(拡大鏡)ツールを使うことが出来ます

角度の測定が出来ます。

距離の測定が出来ます

